

施工要領書

KFシールトエクトWP密着工法
(塩ビシート改修工法)

AM-20HA(HB)工法(平場)
AM-20TA(TB)工法(立上り)

KF KFケミカル株式会社

○施工仕様一覧

平場：AM-20HA(HB)工法（密着工法 平均厚 2.0 mm）

工程	使用材料	使用量（／m ² ）
1	K F シールテクトUB-1プライマーV	0.2 kg
2	K F シールテクトWP ベース	1.4 kg
3	K F シールテクトWP ベース	1.4 kg
4	K F シールテクトUB-1 トップ	0.2 kg

立上り：AM-20TA(TB)（密着工法 平均厚 2.0 mm）

工程	使用材料	使用量（／m ² ）
1	K F シールテクトUB-1プライマーV	0.2 kg
2	K F シールテクトWP 立上り用ベース	1.4 kg
3	K F シールテクトWP 立上り用ベース	1.4 kg
4	K F シールテクトUB-1 トップ	0.2 kg

施工時の作業環境について

- ・ 降雨時および降雨直後の施工は避けてください。
- また、施工後、養生期間中に降雨が予想される場合も、施工を避けてください。
- ・ 強風時の施工は避けてください。
 - ・ 施工に適した気温・湿度等は下表のとおりです。

気 温	湿 度	下地温度
5°C~35°C	80%以下	5°C~55°C

○下地調整

下地種類：塩ビシート

■清掃・洗浄・下地調整

1. 既設の塩ビシートのゴミやホコリ、汚れや付着物棟を取り除き、清掃を行って下さい。
2. 塩ビシートの亀裂や浮き等がある場合は、補修を行って下さい。
※パッチ補修等
※既存塩ビシートの浮きや膨れが激しい場合は撤去が必要になる場合があります。
3. 塩ビシートのジョイント部はKF シールテクト UB-1 プライマーV を全面塗布した後に、KF シールテクト WP ベース又はWP 立上り用ベースにて補強増し塗りを行って下さい。
※ジョイント部・機械固定用のディスク盤部はメッシュ補強が必要になる場合があります。
4. 降雨後は2日以上の乾燥期間を取って下さい。
5. ドレン廻り、排水溝は水が溜まりやすいので乾燥状態の確認を十分に行って下さい。
6. 入隅は必要に応じてプライマー塗布・硬化後、速乾型ウレタンシーリング材にて三角シール処理を行って下さい。
7. 原則として出隅・入隅ともにKFメッシュクロスを使用して補強布張りを行って下さい。
補強布張りはKFシールテクトプライマーVを0.2kg/m²塗布し、
KFシールテクトWPベースを0.4kg/m²塗り付けKFメッシュクロスを貼り付けて下さい。

○使用材料一覧

品名	荷姿・入目	配合比	材質
K F シールテクト UB-1 プライマー V	17 kg/缶 3 kg/缶	1 成分形	1 成分形ウレタン樹脂プライマー (TX フリー溶剤系)
K F シールテクト WP ベース	18 kg/缶	1 成分形	1 成分形ウレタン防水材
K F シールテクト WP 立上り用ベース	18 kg/缶	1 成分形	1 成分形ウレタン防水材立上り用
K F シールテクト UB-1 トップ	15 kg/セット (主剤 : 9kg 硬化剤 : 6kg) 5 kg/セット (主剤 : 3kg 硬化剤 : 2kg)	主剤 : 硬化剤 = 3 : 2	2 成分形アクリルシリコン系樹脂トップコート (弱溶剤系)
K F シールテクト 弾性骨材 ※凹凸工法の場合に使用	0.1kg/袋 (15 袋/箱)	-	KF シールテクト UB-1 トップ専用ゴム粉

○施工手順

平場：AM-18HA(HB)工法（密着工法 平均厚 1.8 mm）

工程	施工方法	養生時間 (23℃環境)
1	KFシールテクトUB-1プライマーVを施工	約1.5~2hr
	各種下地処理後、KFシールテクトUB-1プライマーVを中毛ローラーで0.2 kg/m ² を塗布する。	
2	KFシールテクトWPベースの1層目を塗布	16hr
	KFシールテクトWPベースをコテ・ヘラ・ローラー等を使用して1.3kg/m ² を均一に塗布する。	
3	KFシールテクトWPベースの2層目を塗布	16hr
	KFシールテクトWPベースをコテ・ヘラ・ローラー等を使用して1.3kg/m ² を均一に塗布する。	
4	KFシールテクトUB-1トップを塗布	最終養生 約16hr
	KFシールテクトUB-1を規定の配合(主剤：3 硬化剤：2)に混合攪拌を行う。中毛ローラーを使用し0.2 kg/m ² 塗布する。 ※凹凸工法：AM-18HB 工法の場合、KF シールテクト UB-1 弾性骨材を 2%添加し電動攪拌機を用いて均一に分散される様に混合攪拌を行う事。	

立上り：AM-20TA(TB)（密着工法 平均厚 2.0 mm）

工程	施工方法	養生時間 (23℃環境)
1	KF シールテクト UB-1 プライマー V を施工	約 1.5~2hr
	各種下地処理後、KF シールテクト UB-1 プライマー V を中毛ローラーで 0.2 kg/m ² を塗布する。	
2	KF シールテクト WP 立上り用ベースの 1 層目を施工	16h
	KF シールテクト WP ベースをコテ・ヘラ・ローラー等を使用し 1.4 kg/m ² を塗布する。	
3	KF シールテクト WP 立上り用ベースの 2 層目を施工	16h
	KF シールテクト WP ベースをコテ・ヘラ・ローラー等を使用し 1.4 kg/m ² を塗布する。	
4	KF シールテクト UB-1 トップを施工	最終養生 約 16h
	KF シールテクト UB-1 を規定の配合(主剤:3 硬化剤:2)に混合攪拌を行う。中毛ローラーを使用し 0.2 kg/m ² 塗布する。 ※凹凸工法：AM-20TB 工法の場合、KF シールテクト UB-1 弾性骨材を 2% 添加し電動攪拌機を用いて均一に分散される様に混合攪拌を行う事。	

材料の取扱い・保管について

- ・以下の製品は空気中の水分と反応して硬化するため、開缶後は速やかに使用して下さい。
 - K F シールテクトWP ベース
 - K F シールテクトWP 立上り用ベース
 - K F シールテクトUB-1 プライマーV
- ・防水層施工後は深部まで硬化したことを確認してから次工程に移ってください。深部まで硬化していない場合トップコート塗布後にリフティング（縮れ現象）を生じ仕上り不良となる恐れがあります。
- ・各工程の養生時間は厳守してください。剥がれ等の付着不良を起こす恐れがあります。
- ・特にトップコート塗布後、最終養生時間 16hr (23℃) を厳守して下さい。
- ・防水層施工後、トップコート塗布までの期間が3日以上空いた場合、または降雨にあった場合はK F シールテクトプライマーVを塗布しトップコートを塗布してください。
- ・トップコートは、塗布後に塗り継ぎや補修等で再塗装する場合は翌日以降としてください。
- ・K F シールテクトUB-1 トップは配合比(主剤3：硬化剤2)を必ず守り電動ミキサー等によって良く攪拌・混合してから塗装して下さい。
- ・使用した施工器具等は速やかに溶剤（トルエン・キシレン等）によって洗浄してください。使用材料が固化し施工器具が使用できなくなる恐れがあります。
- ・作業前までに各使用材料のSDSをご覧ください、取扱い・保管・廃棄方法についてご確認下さい。
- ・施工直後に降雨・汗等の水分が施工面に当たった場合、凹みや色分れ等の不具合を生じる恐れがあります。
- ・特に防水層は規定塗布量を厳守するように施工してください。塗布量の過不足は防水機能低下の原因となります。
- ・各種防水材の保管環境について、
 - 夏期 直射日光のあたらない風通しのよい日陰で保管して下さい。各種防水材にK F シールテクトWP硬化促進剤を添加して使用する場合、液温上昇によって可使時間が短くなり材料ロスや仕上り不良の原因となります。
 - 冬期 低温環境での保管は粘度上昇のため作業性が悪くなります。室内等の暖かい場所に置くか、使用前に温める等の処置をしてください。
- ・原則的に希釈は行わないでください。各種防水材の粘度を調整する場合、防水材塗布量を管理した上で、各種防水材の重量に対し3%を超えない量で溶剤(トルエン・キシレン)又はウレタンシンナーによって希釈してください。過希釈は防水機能低下の原因となりますので厳守して下さい。
- ・また、トップコート及びプライマーは無希釈で使用して下さい。

以上